

2017-3-15  
No.998 250円

# 思想運動

活動家集団 思想運動

発行・小川町企画 〒113-0033 東京都文京区  
本郷3の38の10さかえビル2階 ☎03-3818-  
6671 FAX03-3818-3199 (郵便振替)00190-0-758235  
小川町企画・関西連絡先 ☎080-4700-6461  
HP <http://www.shiso-undo.jp/>  
購読料:年間6,000円 半年3,000円(送料共)



「東京電力は福島原発事故の責任をとれ！」(3・11東電本店前抗議行動 3月11日 撮影=Shinya 関連記事3面・8面)

## 朴槿恵罷免後の韓国労働者のたたかい 第二の労働者大闘争にむけて

昨年十二月九日の韓国国会に  
おける弾劾訴追案の可決による  
大統領職務が停止されてから  
三か月がたった三月十日  
韓国憲法裁判所は朴槿恵大  
統領の罷免を八名の裁判官の  
全会一致で決定した。これに  
より、朴槿恵は大統領職の任  
期が満了する二〇一八年二月  
二十四日をまたず失職し下野  
を強制された。大統領特権を  
失い民間人にもどった朴槿恵  
は、これから検察による取り  
調べ、裁判がまっている。憲法  
裁判所の決定は、崔順実の  
国政介入や大統領の権限濫用  
は認定したものの、セウォル  
号沈没時の「空白の七時間」  
に収斂されている。このよう  
な「空白」は、朴槿恵の政治  
生命を脅かす。朴槿恵は、大  
統領職を失った後、六月九日  
の大統領直選制を掲げてた  
たかわれた六月民衆抗争と並  
び称される二〇一七年の朴槿  
恵退陣ろっくデモに表出さ  
れた大衆のエネルギーが、こ  
れら候補者による大統領選挙  
に収斂されていってよいの  
か？ もちろん選挙抗争は大  
事であるが、労働者階級が主  
導的に行ってきたたたかいは形  
成するなかで選挙抗争もまた  
かかわることが肝要なのだ。  
毎週土曜日開催して二〇回  
継続してきたろっくデモと  
デモも、当初の民主労総が主  
導する民衆総決起闘争本部か  
ら、参与連帯などの市民団体  
が主導する朴槿恵政権退陣非  
常国民行動に実行主体が交替  
するなかで、労働者・基層  
人民の生存権を賭けた戦闘的  
な雰囲気から祝祭的な雰囲気  
に変わり、労働組合の旗は後  
景に追いやられた。これは、  
われわれが二〇一五年の戦争  
法案阻止闘争の国会正門前で  
経験した構図と同じだ。

マスメディアを賑わせてい  
る。これまでに次期大統領選  
挙に出馬が予定されている候  
補者は、文在寅(文)にも民主  
党国会議員、安哲秀(国民の  
党国会議員)、李在明(城南  
市市長)、黄教安(首相)、安  
熙正(忠清南道知事)、劉  
承収(正しい政院国会議員)  
などと言われている。

しかし……と思つて、一九八  
七年の大統領直選制を掲げて  
たかわれた六月民衆抗争と並  
び称される二〇一七年の朴槿  
恵退陣ろっくデモに表出さ  
れた大衆のエネルギーが、こ  
れら候補者による大統領選挙  
に収斂されていってよいの  
か？ もちろん選挙抗争は大  
事であるが、労働者階級が主  
導的に行ってきたたたかいは形  
成するなかで選挙抗争もまた  
かかわることが肝要なのだ。  
毎週土曜日開催して二〇回  
継続してきたろっくデモと  
デモも、当初の民主労総が主  
導する民衆総決起闘争本部か  
ら、参与連帯などの市民団体  
が主導する朴槿恵政権退陣非  
常国民行動に実行主体が交替  
するなかで、労働者・基層  
人民の生存権を賭けた戦闘的  
な雰囲気から祝祭的な雰囲気  
に変わり、労働組合の旗は後  
景に追いやられた。これは、  
われわれが二〇一五年の戦争  
法案阻止闘争の国会正門前で  
経験した構図と同じだ。

六月抗争二〇周年  
八七年の六月民衆抗争は未完  
の革命と言われる。それは、  
八七年一月のソウル大学生・  
朴鍾哲君の死(治安本部の  
水拷問で死亡)や六月の延世  
大学生・李韓烈君の死(当時  
の全斗煥退陣デモで戦闘警  
察による催涙弾の直撃を受け  
死亡)などの貴重な犠牲と、民  
主憲法取国民運動本部を  
行主体とする六月十日の五〇  
万人、六月二十六日の一三〇  
万人という全国的規模のデモ  
のうえに大統領直選制改憲や  
金大中氏ら政治犯の釈放を  
はじめとする「6・29民主花  
宣言」を引き出した。しか  
し、国民運動本部のたたかい  
は、その一方で、大統領直選制  
などの憲法改正過程から国民  
運動本部は排除され、金大  
中・金泳三の野党候補一本化  
も成し遂げられず、全斗煥  
事独裁のあとを継ぐ盧泰愚  
事独裁の登場を許したからで  
ある。全斗煥と盧泰愚が書い  
た筋書き通りに事態は進行  
したのだ。当時、百数十万人  
規模のたたかいは展開したが  
、その成果を軍部独裁に奪  
奪されたたたかいの参加者た  
ちは「粥を炊いて、結局大に  
くれてやった」と嘆いた。

それから三〇年後のこんに  
ち、ろっくデモで朴槿恵退  
陣に追い込んだ韓国人民は、  
陣に追い込んだ韓国人民は、  
かなるたたかいをこのちに  
展開していくのか？

朴鍾哲烈士とともに六月民衆  
抗争の発火点になった李韓烈  
烈士の母・裴恩深さん(元全  
国民民主遺家族協議会会  
長、前反米女性会会長)は、  
今回の朴槿恵退陣ろっくデ  
モにたいして次のような感懐  
を語っている。「八七年のそ  
の喊声は未完だと、多くのひ  
とが言います。一度経験す  
ればよいものを、また同じ  
とを……。きみが偉い、わ  
たしが偉いと言つて、またそ  
うなつてはならない。それは  
国民が黙つてはいないでしょ  
う。わたしたち国民は、だれ  
かを大統領にしようとして口  
ウソのあたりを掲げたので  
はありませぬ。だから欲を張  
るのはいやめましよう。世の中  
を一度変えてみましよう、い  
まこそ。世の中は変えなけれ  
ばならない。いまあの巨大な  
ロウソクのあたりを見ながら  
も、わたしたちがそいつを  
とを考へられずに欲を張るな  
らば、それは国民を愚弄した  
ことになるでしょう。」「(ニ  
ュース打撃)新年特集(ロウソ  
ク)のあたり2017「粥を炊  
いてXにしてくれやな」

もう二〇三〇年  
朴槿恵退陣を成し遂げ、六月  
民衆抗争の三〇周年が近づ  
くにつれ、もうひとつの三〇  
周年をこえて喚起したい。八  
七年の六月民衆抗争につづ  
き、七、八、九月に爆発的に起  
きた労働者大闘争だ。六月民衆  
抗争の熱気を受けて、七、九  
月の三か月間に三つに三四  
九件の労働争議が起り、こ  
うしたたたかいをうけてきた  
さまざまな産業・業種に新規  
労働組合が設立されていった。  
その奔流は、九〇年の全国労  
働組合協議会(全労協)の結  
成につながり、九五年の全国  
民主労働組合総連盟(民主労  
総)の結成にもつながつてこ  
んにちに至る。韓国現代史で  
の李ジョン代表など、国家  
保安法によって裁判にかけら  
れた獄中生活を余儀なくされ  
る良心囚が多数存在する。  
これら韓国社会を覆つ反共イ  
デオロギの克服と国家保安  
法の撤廃は、米韓合同軍事演  
習をはじめ日韓の対朝鮮戦  
争挑発策動と対決して南北朝  
鮮の統一を成し遂げていくた  
めの欠くべからざる喫緊の課  
題なのである。【土松真典】

【土松真典】